



こんにちは

# 村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2022.8.5  
No 363



わたしが県知事になれば、「消費税減税を国に求め、市町村の暮らし応援事業を支援します。

米軍の低空飛行訓練中止を米軍にじかに申し入れ中止させます。

リニア新幹線建設は中止を求めます。

「暮らし応援のあったか県政に」変えるチャンス  
2度目の挑戦、ぜひとも金井さんを押し上げてください。

わたしが県知事になれば、「子どもの給食費は無償に、医療費も個人負担をなくします。高校生のタブレット購入に補助を出して、子育て家庭を応援します。」

わたしが県知事になれば、「ケア労働者の待遇改善を強化します。川西赤十字病院など地域の公的病院の削減統合は中止させます。再生可能エネルギー、食糧自給率100%の長野県に。」

## 「有言実行の人」知事が変われば、暮らしが変わる！！県民の会の「新人に」大きなご支援を！

ブドウ・リンゴ栽培農家です。10億円の農家育成よりも、条件の厳しい中で頑張る家族農業を応援し、自給率向上に役立つ長野県農業に。県民の会代表はうってつけの人です。(農業)



小中学校でタブレット等の端末が導入され、高校でも必要なのは理解できますが、なぜ、高校生は個人で購入しなければならないのでしょうか？これ以上保護者負担を増やさず、全員分を貸与に！（新日本婦人の会、保護者）

岸田内閣は、75歳以上の医療費窓口負担2倍化を本年10月より実施しようとしています。加えて年金の切り下げもすでに実施しており、国民の生存権・健康権そのものを脅かす政治です。あったか県政の実現目指して頑張ってください。(農業)



大陽を向く  
ひまわり

今週のパチリ！

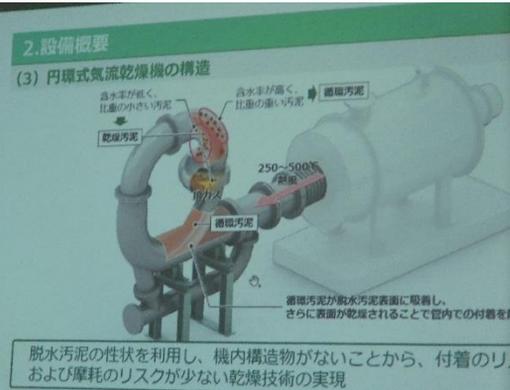
中学校へ向かう道に沿って見事なひまわり畑が。そろって東、太陽を向いています。文字通り「向日葵」。  
どなたが植えてくださったのでしょうか。畑2枚ほどの広さにびっしりと咲いています。「夏本番」の象徴です。「いつでも前を向いて」と元気よく。ウクライナに平和を。

## 「円環式気流乾燥機一次世代の汚泥処理施設」 栃木県鹿沼市の黒川終末処理場

最新式の脱水乾燥システムを活用することにより下水汚泥の肥料化・燃料化に繋げている事例の視察研修

川西衛生施設組合では下水処理汚泥を炭化処理し、粒状にして土壌改良材などに使ってもらうよう袋詰めし1袋100円で販売していました。しかし、炭化炉が老朽化により故障し、現在は脱水汚泥を民間に有償で引き取ってもらっています。

今回の視察は、故障した炭化炉に代わる汚泥処理技術の一つとして組合のワーキンググループが研究している興味深い技術でした。



事前に仕組みについてのレクチャーを受けてから実際の現場に研修に。

この「円環式気流乾燥機」のシステムは、丸めた管の中に脱水汚泥を熱風で吹きつけ回転させ、円環の外側には重い粒が、中側には軽い粒子が付着する仕組みを活用し、それぞれの出口で回収するシステムです。水分量の多いものは肥料として使われ、水分量の少ない軽い微粒子状のもの（さらさらした微粒子）は燃料（炭素）として販売されます。

夏は肥料化の割合が高く、その他のシーズンは燃料としてのニーズが高いとの事で、吹きかける熱風により、水分量を調整できるところがこの技術の優れているところだといいます。

製造や運転コストなどについては報告はなく、「こんな技術があるよ」という検討事例として、今回の視察は留まる感じでした。



佐久市・東御市・立科町の議員と川西衛生施設組合の職員

## 7.29 下水処理に「ユニット型仮設排水処理装置」の視察研修 つくば未来市

### 小絹水処理センター内に設置された実験中のシステム

この施設のミソは、下水処理に広大な敷地や施設が必要なく、大型トレーラーでも運搬設置ができるほどのコンパクトさで、処理時間が従来の6分の1に圧縮できる高性能の処理装置だということ。

その技術のポイントは高密度ポリエチレンの丸い穴がたくさん開いた担体（汚れを吸着する能力を持つ直径3cm程の円盤型吸着剤）を汚水の中にたくさん入れ、底から酸素を送り込むことにより微生物が汚水の微粒子を分解、汚水が浄化されやすくなるとのこと。

大きな水槽は3層に分かれ、底から酸素がブクブクと供給されます。水槽内の丸い担体が流れ回りながら汚れを吸着します。その後、水槽を過ぎた汚水は丸いドラムに送られ、そこで細かな汚泥と水が分離されて環境に放出される仕組みです。時間もコストも少なく済むとのこと。常設の下水処理場が故障したり修理で使えない期間の仮設の処理施設として有効、また、災害時の下水処理にも有効であるとのこと。地震や津波で下水処理場や電気設備が損傷した時には、すぐに活用できる技術であると思いました。

ただ説明にあたった「株式会社西原環境」はフランスのベオリア社の日本子会社だということで、上下水道事業に進出する『外国資本がここにも』の思いでした。

説明員は生物化学を専攻した女性で、わかりやすい説明でした。



丸い担体が多数投入され、汚れを付着させる汚水槽



固液分離ドラム

少きれいになった汚水がドラムに送り込まれ、更に、粒子と水に分離するドラム。このドラムは回転して汚れを落とす仕組み。